

# 入院診療計画書

CP000955 様 入院日: 年 月 日 病棟: 号室  
 病名・症状: パス名: 担当看護師: 担当薬剤師: 担当栄養士:  
 総合的機能評価:

西暦 年 月 日 担当医:  
 西暦 年 月 日 印 看護師:  
 患者様・ご家族様サイン

やわたメディカルセンター

期間	No	未定 検査日(検査前)	未定 治療日(治療後)	未定 治療翌日	未定 退院日
経過	P	オリエンテーションが理解でき、不安なく検査が受けられる ※気がかりなことがありましたら遠慮なくお聞き下さい	・出血や痛み、気分不快などがあれば ナースコールすることが出来る ・水分摂取の必要性がわかる ・安静度が守ることが出来る	・生活習慣の改善に取り組むことができる	入院予定期間で退院できる
活動・安静度	P	・病院内自由です。 (症状によって制限されることもあります) 	【手首・肘の場合】 ・検査後1時間以内…室内でお過ごし下さい ・検査後1時間…病棟内をご自由に歩いて結構です ※手首の圧迫は、最初の2時間までは1時間毎に少しずつ空気を抜いていきます ※肘の圧迫は、最初の2時間までは1時間毎に少しずつ空気を抜いていきます ※空気を抜いていく途中で出血があれば空気の入れ直しをします ※検査した手首や肘は絶対に曲げたり物を持つたりしないで下さい 【大腿部の場合】 ・治療後から翌朝までベッド上で安静に過ごしていただきます ・帰室直後から6時間経つまでは、仰向けのままで足を動かすことが出来ません ・寝返りは看護師が手伝いますので、自分でしないようにしてください ・6時間後からベッドを45度まで起こしたり少し膝を曲げることも可能です。寝返りの可能です。 ※検査の状態によって安静時間が変更となる場合があります ・検査後1時間…空気を少し抜きます ※安静が保てない場合は下肢の動かさないように固定させていただくこともあります (別途、抑制同意書にて承諾をいただきます) ※使用したシーツや手拭により、安静時間が短くなることもあります。	<手首と肘の場合> ・看護師が固定帯を外します ☆穿刺部からの出血があった場合は止血固定を延長する場合があります  <大腿部の場合> ・朝食はベッドの挙上を60度まで可能です ・朝の診察時に、医師が圧迫止血帯を外します ☆止血帯が外れるまで座ったり、歩いたり出来ません  ・安静終了後に病院内自由です (症状によって制限されることもあります)	・病院内自由です (症状によって制限されることもあります)
治療・処置	P	・治療を行う部位の毛剃り(大腿部からの場合)と マーキングを行います ・検査衣に着替えます ・指輪・時計・義歯などは外して下さい ・大腿部からの検査の時は検査用パンツを 着用して下さい ・点滴を行います ・深部静脈血栓予防のために両下肢に包帯を巻きます	・血圧など症状の観察は帰室から3時間後までは必ずチェックします ・治療後に生理検査室で心電図検査を行います。 ・帰室後より心電図モニターを装着します。 ☆その後も適宜、観察していきますが 『胸が痛い』『胸がつかう』『息がしにくい』『気持が悪い』などの 症状がありましたらすぐに教えてください	・朝、心電図検査があります。その後心電図モニターを外します。 ・睡眠時無呼吸の簡易検査を行ったことがない場合は行う事があります。	
検査	P	・検査の時間は『午後 時ごろ』です。 ・1階の血管造影室で行います。 ・検査室には看護師と一緒に車椅子で移動します。 ※症状がある際はベッドで移動します。遠慮無くお申し出ください。	・心電図モニターを装着します ・帰室直後、1時間後、2時間後、3時間後に 血圧、体温を測ります ・治療した部位からの出血の有無を確認します	・12誘導心電図の検査をします ・医師の診察後に心電図モニターを外します	
リハビリ	P			心臓リハビリテーションがあります	心臓リハビリテーションがあります
説明・指導・栄養・服薬	P	・大腿部からの検査の方は、 検査用パンツを購入下さい (1階の売店で購入して下さい)  ・服薬指導があります ・糖尿病薬を内服している方は中止する場合があります。 ・特別な栄養管理の必要性 (有・無) ・10時40分より心臓病教室があります ・入院について、治療についての説明があります	・治療した部位からの出血や 痛みが強くなった場合は直ぐにお知らせ下さい  ・主治医より治療後に説明があります ☆退院後の生活、仕事などについて ご不明なことがありましたら、この時にお聞き下さい  ・主治医の結果説明後、再発予防のための生活習慣アンケートを記入してもらいます	・アンケート参考にして心臓病・動脈硬化について看護師から説明させていただきます 	
食事	P	・昼食以降の水分は摂ることが出来ません	・水分は帰室後にすぐに摂ることができます 治療に『造影剤』を使用しています 体から早く出す為に 水分は多く取って下さい  ・夕食は帰室後、1時間後に摂ることができます	<大腿部の場合> ・圧迫止血帯が外れば座って 食べることができます 	
排泄	P	・必要時または希望があればおしこの管を入れる場合があります ※大腿部から治療を行う際は場合は必ず必要です。	・トイレに行きたい時は 必ず看護師にお知らせ下さい 	<大腿部の場合> ・トイレで出来ます 	
清潔	P	・治療前までは入浴できません (症状、状態によっては入浴できません)	・治療後は入浴できません	・経過がよければ シャワー浴のみ可能です。 ・それ以降は入浴可能です。 	
対症指示	P	・胸痛・胸部不快がある場合はナースコールでお知らせ下さい	・眠れないとき、痛みがあるとき、吐き気があるときは ナースコールでお知らせ下さい		